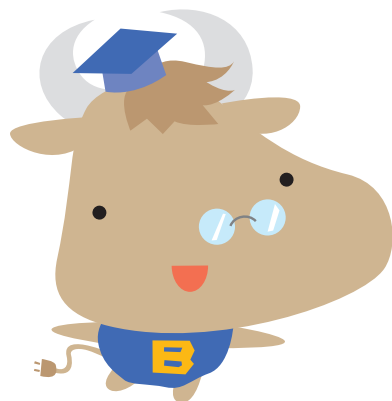
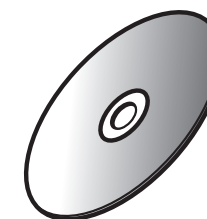
CD－RWドライブ

ユーザーズマニュアル（PDFファイル）

USBで接続する方へ

外付ドライブ

セットアップ
CD書き込み
取り扱いかた

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください（こちらをクリックすると表示されます）。

最新の情報は、弊社ホームページ（buffalo.jp）を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

セットアップ

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください（こちらをクリックすると表示されます）。

最新の情報は、弊社ホームページ（buffalo.jp）を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

セットアップ

セットアップのながれ

パソコンの電源スイッチをONにする

付属のユーティリティCDをパソコンのCD・DVDドライブにセットする

「簡単セットアップ」が起動したら、画面の指示に従って
本製品をセットアップ（取り付け・USBドライバのインストール）する

※Windows Vista/XP/2000/Meでは、簡単セットアップを実行しなくても本製品を接続してそのまま使用できる製品もあります。別紙「はじめにお読みください」に記載の手順に従ってセットアップしてください。

付属のユーティリティCDで付属のソフトウェアをインストールする

注意・メモ

注意

・別紙「はじめにお読みください」と併せてお読みください。

・本製品を取り付ける前に、ハードディスクなどの大切なデータは他のメディアにバックアップ（保存）してください。

・パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意や設定は、各マニュアルを参照してください。

注意

本製品にユーティリティCDをセットしてドライバをインストールすることはできません。パソコンに標準搭載されているCD・DVDドライブに付属のCD-ROMをセットしてインストールしてください。CD・DVDドライブを搭載していないパソコンをお使いのときは、弊社ホームページ(buffalo.jp)より、本製品のドライバディスクをダウンロードしてください。

←前のページへ 次のページへ→

取り付けの前に

本製品をパソコンに取り付ける前に、次の事項にご注意ください。

●本製品を取り付ける前に、ハードディスク内の大切なデータを他のメディアにバックアップ（保存）し、すべてのアプリケーションを終了してください。

●本製品はパソコンのUSBコネクタに接続します。パソコン本体にUSBコネクタが装備されていないパソコンを使用している場合は、弊社製USBボードを使用してください。

●1台のパソコンに、USB接続のCD・DVDドライブ（本製品を含む）を2台以上接続して使用することはできません。

●本製品は、パソコン本体の省電力機能（サスペンド機能、スリープ機能など）には対応していません。
パソコンの省電力機能は必ず無効に設定してください。

●パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意や各種設定は、各マニュアルを参照してください。

●パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

注意・メモ

←前のページへ 次のページへ→

●パソコンおよび本製品は精密機器です。別紙「はじめにお読みください」に記載されている「安全にお使いいただくために必ずお守りください」を必ず参照してください。

●本製品で書き込みをしているときは、USBケーブルに触れないでください。書き込み中にUSBケーブルを抜き差しすると、正常に書き込めません。

●CyberTrio-NXがインストールされているPC98-NXシリーズでは、CyberTrio-NXをアドバンストモード以外のモードで使用していると、Windowsの設定が変更できないことがあります。
パソコン本体のマニュアルを参照して必ずアドバンストモードに変更してください。

●USB2.0対応製品をご購入の方へ（製品によって対応しているインターフェースは異なります）
WindowsXPをお使いの場合、USB2.0インターフェースを搭載していない環境（USB1.1インターフェース環境）で、USB2.0対応製品を接続すると、「高速USBデバイスが高速でないUSBハブに接続されています。」と、警告メッセージが表示されます。
USB2.0インターフェースを増設することで、メッセージは表示されなくなります。

●USB1.1インターフェースに接続してご使用される方へ
USB1.1インターフェースでは、書き込み速度は最大8倍速です。ライティングソフトウェアの設定画面で、書き込み速度を8倍速以上にしていると、正常に書き込めないことがあります。

注意・メモ

←前のページへ 次のページへ→

取り付け方法

付属のユーティリティCDに収録されている「簡単セットアップ」の指示に従ってセットアップ（取り付け・ドライバのインストール）をします。

※Windows Vista/XP/2000/Meでは、簡単セットアップを実行しなくても本製品を接続してそのまま使用できる製品もあります。別紙「はじめにお読みください」に記載の手順に従ってセットアップしてください。

セットアップが完了すると、本製品のデバイスが、デバイスマネージャに登録されます（デバイス名は製品によって異なります）。

注意・メモ

メモ

別紙「はじめにお読みください」を参照してセットアップしてください。

メモ

- 登録されるデバイス名については別紙「はじめにお読みください」を参照してください。
- デバイスマネージャの表示のさせ方についてはWindowsのヘルプを参照してください。

←前のページへ
次のページへ→

ＣＤ書き込み

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください（こちらをクリックすると表示されます）。

最新の情報は、弊社ホームページ（buffalo.jp）を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

ＣＤ書き込み

書き込み

書き込みには、付属のB’s Recorder GOLD BASIC（以降、B’s Recorder GOLDと記載します）を使用します。
B’s Recorder GOLDのインストールは簡単セットアップで行います。
使いかたについては、B’s Recorder GOLDの電子マニュアルをお読みください。

著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。本製品を使用して複製するときは、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。

注意・メモ

メモ

B’s Recorder GOLDの電子マニュアルはインストール後に、[スタート]-[(すべての)プログラム]-[B.H.A]-[B’s Recorder GOLD BASIC]- [DOC] -[ユーザーズマニュアル]をクリックすると表示されます。

メモ

一度書き込んだCD-R/RWメディアには、他のライティングソフトウェアでは追記できません。

←前のページへ 次のページへ→

書き込み方式

メディアの使用目的に応じて書き込み方式を選択してください。ライティングソフトによって対応している書き込み方式は異なります。【ライティングソフトウェアのヘルプ参照】

●ディスクアットワンス方式
・リードインからリードアウトまでを1回で書き込む。
・1枚のCD-RWメディア、もしくはCD-Rメディアに対して1回だけ書き込みができる（容量が残っていても追記できない）。
・CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。

●トラックアットワンス方式
・ディスク容量に空きがある限り、何度でも追記ができる。
・CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

●セッションアットワンス方式
・CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。
・CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

注意・メモ

メモ

・ボリュームラベルとして使用できる文字は、0～9およびA～Z（大文字）です。
・2トラック以降にデータを含むCDは、トラックアットワンス方式でのバックアップはできません。ディスクアットワンス方式でバックアップしてください。
・1回書き込むごとにリードアウトとリードインが書き込まれるため、約13～23MBが余分に消費されます。

←前のページへ 次のページへ→

CD-RW の制限事項

●CD-RWでは、データの書き換えが複数回可能です。書き換え可能回数はCD-RWメディアによって異なります。古い使用済みのメディアで書き込みができなくなったときは、新しいCD-RWメディアをお使いください。

●データを消去したいときは、1枚のCD-RWメディア全体を初期化します。セッション単位、ファイル単位、フォルダ単位では消去できません。初期化はライティングソフトウェアで行います。

●CD-RWメディアに8倍速以上の速度で書き込みをする場合、HighSpeedに対応したCD-RWメディアを使用してください。

●CD-RWメディアに16倍速以上の速度で書き込みをする場合、UltraSpeedに対応したCD-RWメディアを使用してください。

●CD-ROMに比べて反射率が低いため、CD-RWに対応したドライブでないと読み出せません。

CD-RWに対応していないCD-ROMドライブや音楽CD用プレーヤーでは、データを読み出せません。

注意・メモ

メモ

16倍速以上の速度でCD-RWメディアに書き込むには、ドライブ側も対応している必要があります。

メモ

使用しているCD-ROMドライブがCD-RWに対応しているかどうかは、 パソコン本体のメーカーまたは CD-ROM ドライブのメーカーにお問い合わせください。

←前のページへ　次のページへ→

取り扱いかた

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください（こちらをクリックすると表示されます）。

最新の情報は、弊社ホームページ（buffalo.jp）を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

←前のページへ 次のページへ→

取り扱いかた

使用時の注意

●USBケーブルなどのコネクタ接続部を無理に引っぱったり、強い力を加えたりしないでください。破損の原因になります。

●メディアへの書き込み中やCDの再生中に本製品を動かしたり、振動の多いところで使用したりしないでください。

●本製品を不安定な場所（平らでない場所、傾いた場所など）に設置しないでください。

●本製品はホットプラグに対応しています。
本製品やパソコンの電源スイッチがONの時でも、取り扱いかた–⑤「本製品の取り外し」に記載の手順でUSBケーブルを抜き差しできます。

●本製品の上に物を置かないでください。

注意・メモ

注意

本製品へのアクセス中は、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。 データが破損するおそれがあります。

●本製品にセットしたメディアの音声を聴くには、Windows Media Player 7以降などデジタル再生に対応したプレーヤーで再生してください。

< Windows Media Player 7の設定手順 >
①Windows Media Player 7を起動します。
②メニューから[ツール(T)]ー[オプション(O)]を選択します。
③[CDオーディオ]タブをクリックします。
④[再生の設定]項目中の[デジタル再生(K)]のチェックボックスをクリックし、チェックマークを付けます。
⑤[OK]をクリックします。

< Windows Media Player 8以降の設定手順 >
①Windows Media Player を起動します。
②メニューから[ツール(同期)]ー[オプション(その他のオプション)]を選択します。
③ [デバイス]タブをクリックします。
④本製品のドライブ文字(例 E:)が表示されているドライブを選択し、[プロパティ(P)]をクリックします。
⑤ [再生]項目中の[デジタル(D)]のチェックボックスをクリックし、チェックマークを付けます。
⑥ [OK]をクリックします。設定画面を閉じてください。

注意・メモ

メモ

・WindowsMeにはWindows Media Player 7が標準で付属しています。また、Microsoft社のホームページから無償ダウンロードできます。WindowsXPにはWindows Media Player 8が標準で付属しています。

・Windows Media Playerの操作方法については、ヘルプを参照してください。

注意

パソコンによっては、デジタル再生に対応していないことがあります。その場合は、パソコンに標準で搭載されているCD-ROMドライブなどで再生してください。

←前のページへ 次のページへ→

メディアの取り扱いに関する注意

メディアのわずかな傷や汚れの付着によっても正常に読み出し（書き込み）できなくなるおそれがあります。取り扱いには十分注意し、次の事項を必ず守ってください。

●直射日光に長時間さらさないでください。

●メディアに傷を付けないでください。

●記録面に手を触れないでください。

●記録面にゴミやほこりなどが付着しているときは、市販のダストクリーナーで除去してください。

●シールやラベルなどを貼らないでください。

●メディア同士を重ねないでください。

●レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなど先の硬い筆記具は使用しないでください。

注意・メモ

←前のページへ 次のページへ→

メディアのセット／取り出し

●メディアをセットする
イジェクトボタンを押してトレーを出し、メディアをセットします。
トレーは軽く押すと戻ります。

●メディアを取り出す
イジェクトボタンを押してトレーを出し、メディアを取り出します。
トレーを軽く押してトレーを戻します。

注意・メモ

注意

- 本製品を縦置き（垂直）にして取りつけた場合は、トレーのツメにメディアをかけてセットしてください。
- 縦置き（垂直）にした場合、8cmサイズのCDは使用できません。
- アクセス中は、絶対にイジェクトボタンを押さないでください。システムが停止するおそれがあります。
- PC連動AUTO電源機能を搭載した製品をお使いの場合、パソコンの電源がOFFのときイジェクトボタンを押してもトレーは出てきません。

←前のページへ 次のページへ→

本製品の取り外し

パソコンの電源スイッチがONのときに本製品を取り外すときは、必ず次の手順で行ってください。

1 本製品からメディアを取り出します。

2 タスクバー(タスクトレイ)に表示されているアイコン(、、、、のいずれか)をクリックします。

※一部の製品ではクリックではなく、右クリックの場合があります。

3 取り外し(または停止)のメニュー項目をクリックします。

4 本製品を安全に取り外すことができるというメッセージが表示されたら、本製品を取り外します。

注意・メモ

メモ

パソコンの電源スイッチがOFFのときは、そのまま取り外せます。

メモ

取り外し(または停止)のメニューに表示されるデバイス名は製品によって異なります。デバイス名については、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

←前のページへ 次のページへ→

ご注意

■本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられています。
■BUFFALO™は、株式会社バッファローの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは記載していません。
■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
■本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの 安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
■本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。
■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記載されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップ作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。
■本書では、Microsoft社 Windows Millennium EditionをWindowsMeと表記しています。
■本書では、Microsoft社 Windows98 Second EditionをWindows98SEと表記しています。

CD-RWドライブユーザーズマニュアル
2007年1月11日 第4版発行
発行　株式会社バッファロー
PY00-28199-DM10-04 4-01 C10-012

←前のページへ